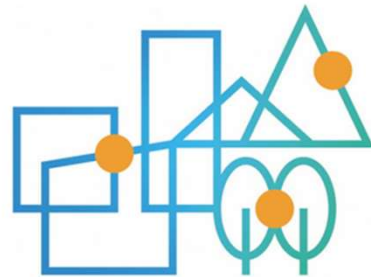


地中熱を活用した道の駅邑南の里の再整備



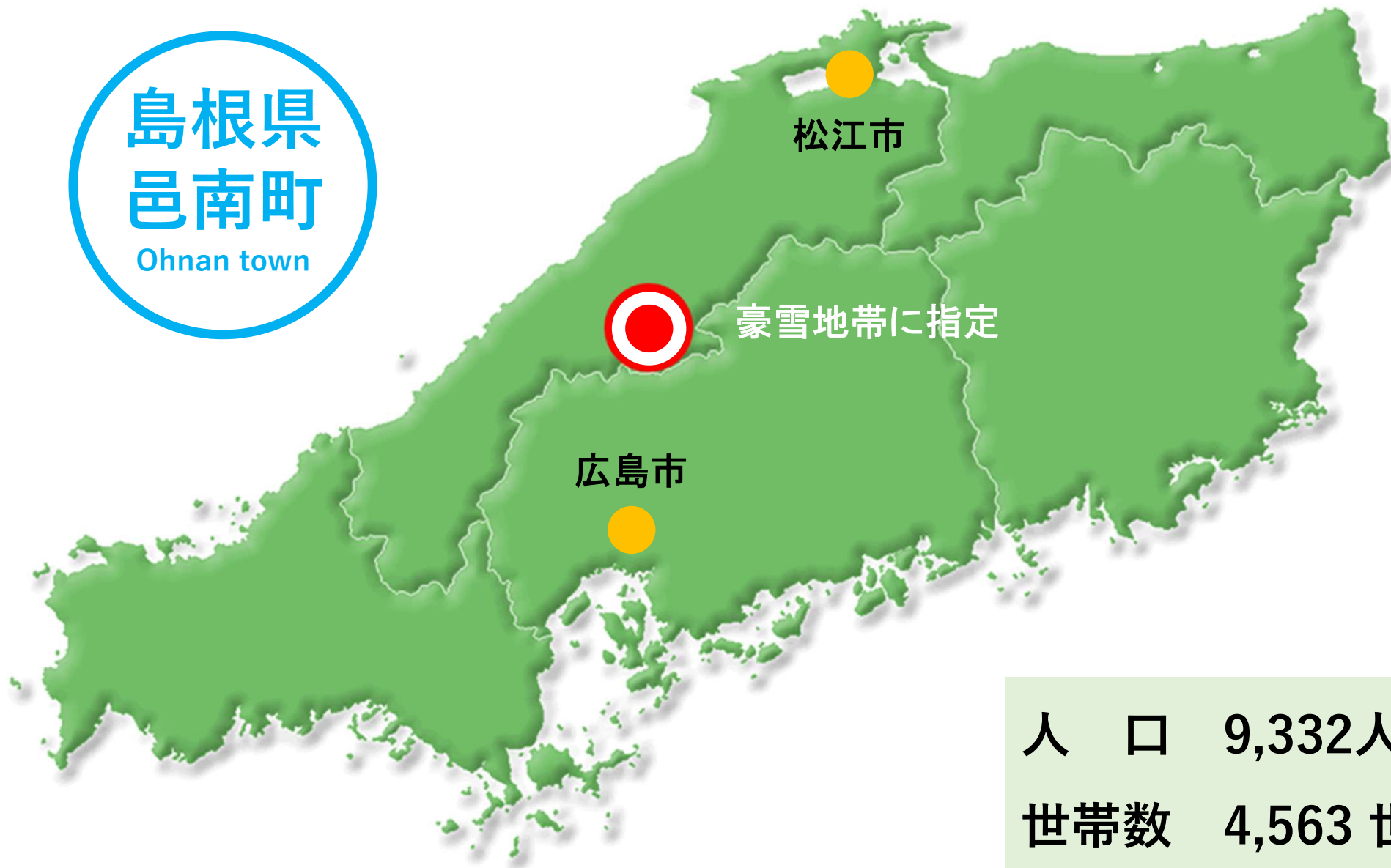
Decarbonization
Leading Area
Ohnan Town, Shimane Pref



島根県邑南町

島根県 邑南町

Ohnan town



松江市

豪雪地帯に指定

広島市

人 口 9,332人

世帯数 4,563 世帯

面 積 419.2 km³

※令和7年8月末現在

■ 邑南町が「脱炭素」に取り組む理由

人口減少

合併後
約3,500人減少

経済縮小

電気料金
6億円～7億円流出

高齢化

高齢化率
46.1%

脱炭素は環境ためだけの取組ではない



発電事業



電力小売事業



再エネ活用



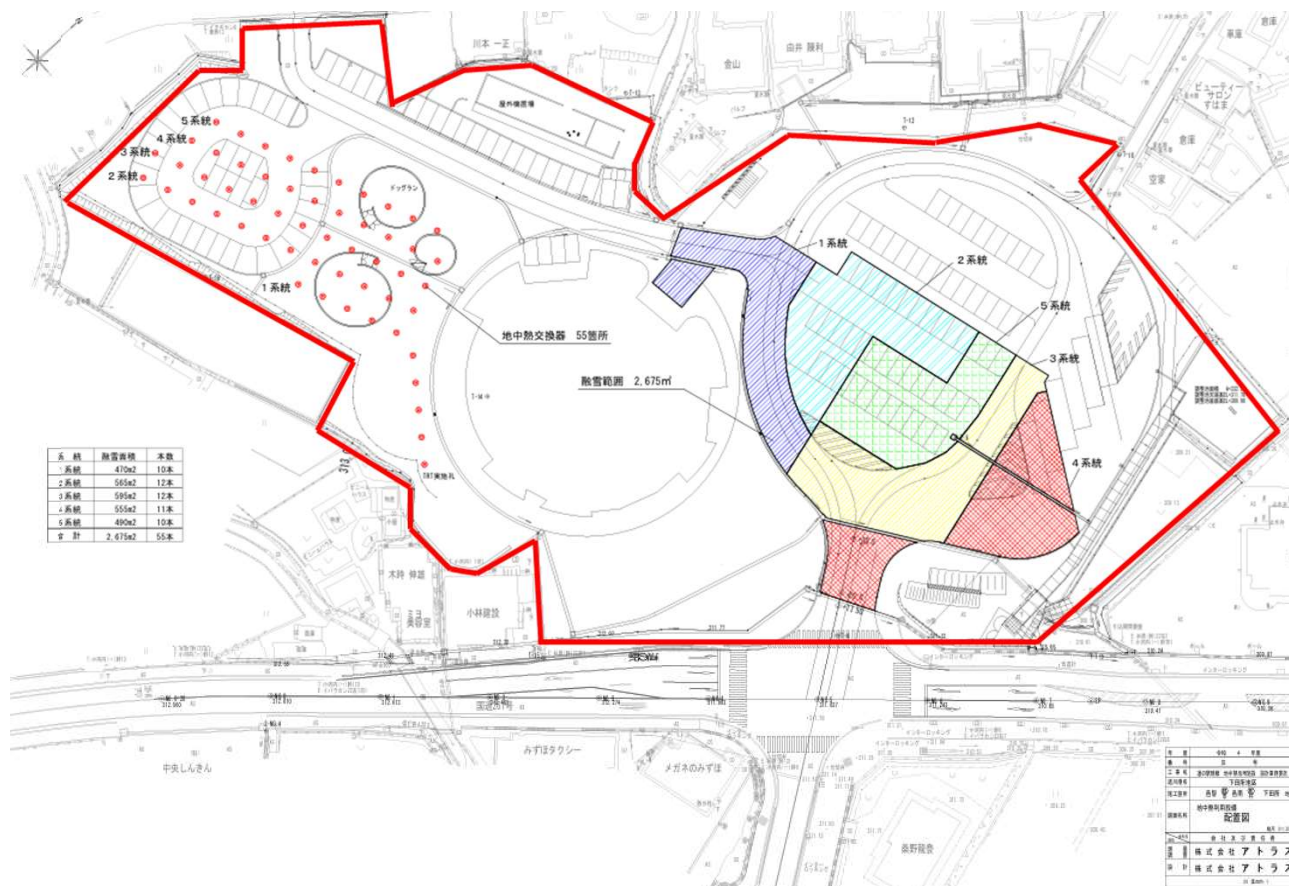
エネルギーによる経済循環を確立



道の駅再整備

平成29年度事業開始

国道261号





道の駅 Ohnan no Sato
邑南の里

令和7年8月4日グランドオープン

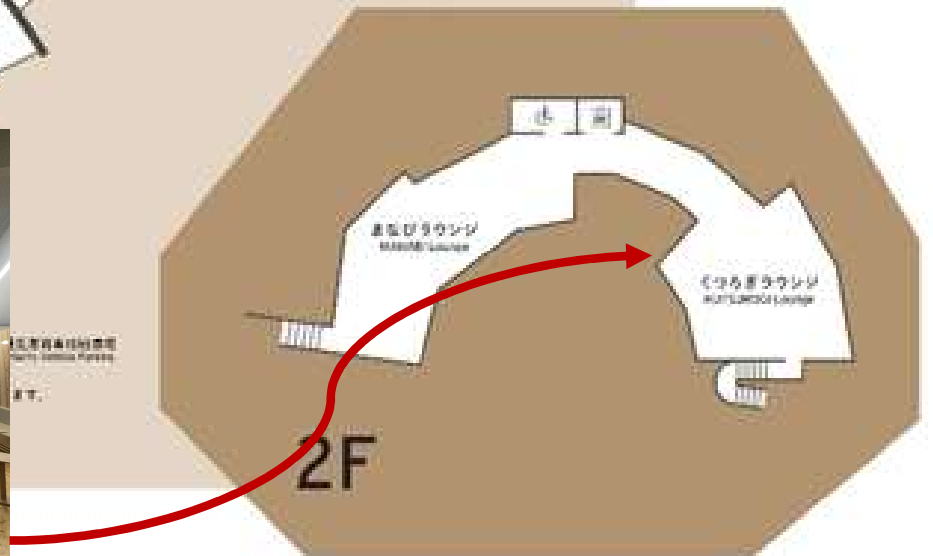
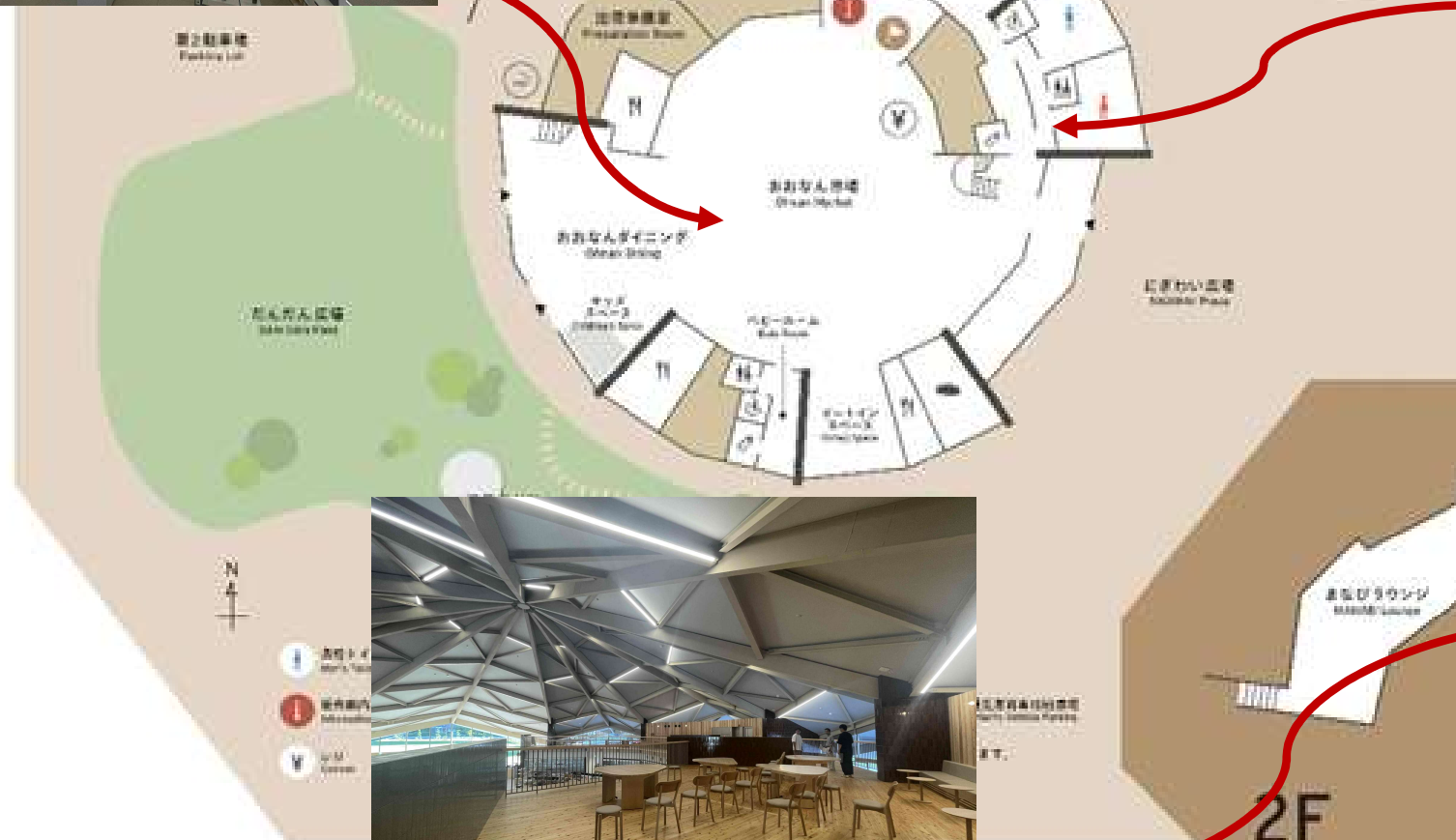




太陽光発電設備の導入（PPAによる）

EV充電の導入

地中熱を活用した、駐車場の融雪と施設内の空調利用



地中熱融雪設備導入効果

- ・道の駅の防災機能の強化
- ・融雪機能を備えたことによる融雪コスト削減
- ・融雪コストの町外流出の阻止
- ・天候に左右されない入込客の確保

今後の課題

- ・利用者への認知
- ・設備導入の考え方の横展開

■ 邑南町が目指す脱炭素のまちづくり

脱炭素 + ○○



いつの間にか脱炭素を選べる町

- ・エネルギー支出を抑制することによる町内経済循環の確立
 - ・これまで邑南町が取り組んできた各種事業への付加価値付け
- ① PPAモデルを活用し、太陽光パネルと蓄電池を設置し、電力の自家消費を進める。
 - ・おおなんきらりエネルギーの設立
 - ② 道の駅瑞穂再整備にあたり設備の脱炭素化
 - ・地中熱を利用した融雪設備・空調設備の導入
 - ・EV充電設備の導入
 - ③ 有機農業・スマート農業の推進
 - ・ハウス空調のエネルギー源の電化
 - ・化学肥料の削減
 - ・ソーラーシェアリングの推進
 - ④ 「食のサプライチェーン」の脱炭素化
 - ・農業資材調達⇒生産⇒集出荷⇒販売⇒消費
 - ⑤ 豊かな森林資源を活用し、暮らしの豊かさを追求
 - ・CO2吸収量の確保や熱エネルギー源としての価値付け
 - ⑥ 日中の需要を夜間電力や緊急時の電源供給に活用
 - ・勤務先など長時間自動車が停車する場所へ普通充電設備を整備

効果

- ① エネルギーの地産地消・自家消費による経済循環の確立
- ② 電力消費に限らず各事業分野でCO2排出削減

脱炭素へのモデルチェンジ

